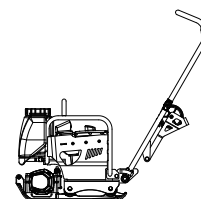


Mikasa

プレートコンパクター

MVC-i60



取扱説明書

ja

三笠製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に保管してご利用ください。



<http://www.mikasas.com>

401-04801



目次

1. はじめに	1
2. 機能概要	1
3. 警告サイン	2
4. 安全のための注意事項	2
4.1 一般的な注意事項	2
4.2 バッテリーの注意事項	2
4.3 充電器の注意事項	3
4.4 作業前の注意事項	4
4.5 作業中の注意事項	4
4.6 積み下ろし作業に関する注意事項	4
4.7 運搬に関する注意事項	5
4.8 保管に関する注意事項	5
4.9 整備上の注意事項	6
4.10 ラベル取付位置	6
4.11 ラベルリスト	7
4.12 警告ラベルの説明	7
5. 仕様	8
5.1 本体	8
5.2 モーター	8
5.3 リチウムイオンバッテリー	8
5.4 充電器	9
6. 外観図	9
6.1 外観寸法図	9
6.2 各部の名称	10
7. 運転前の点検	11
7.1 点検	11
7.2 バッテリーと充電器	11
7.3 バッテリーの取付けと取外し	11
7.4 防振中折れハンドルの点検	12
7.5 回動式移動車の点検	12
7.6 水タンクの点検	13
8. 運転	14
8.1 START(始動)	14
8.2 STOP(停止)	14
9. 運搬	14
10. 手入れ	14
11. 保管	14
12. 定期点検	15
12.1 各部点検スケジュール表	15
13. トラブルシューティング	15
13.1 本体	15
13.2 バッテリーと充電器	15

1. はじめに

- この取扱説明書は、プレートコンパクターの正しい取扱方法、簡単な点検及び手入れについて記載してあります。本機の優れた性能を生かし、お仕事の能率を上げ効果的な作業を進める為に、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- お読みになった後も必ずお手元に保管し、分からない事があった時には取り出してお読みください。
- バッテリー、充電器の取扱いに関しては、個々の取扱説明書を参照してください。
- 補修部品、パーツリスト、サービスマニュアル及び修理に関しては、販売店・当社各営業所もしくは三笠部品サービスセンターにお問い合わせください。なお、パーツリストは当社ホームページ <http://www.mikasas.com/> の三笠WEBパーツリストでも公開しております。是非ご利用ください。

この取扱説明書に記載されているイラストは、設計変更等により一部実機と異なる場合があります。

2. 機能概要

用 途

本機は、転圧盤を振動させることにより、路盤表層を締固めする機械です。土砂及び砂利の敷き均しや、アスファルト舗装の仕上げ作業等路盤表層を平坦にする作業に適します。

誤用途・ご使用の警告

水分の多い地面、特に粘土質の現場では、本機が進行せず作業に適しません。また、大きな石が含まれた土質の場合、転圧力が不足し敷き均しが出来ません。

本機は、表層を平坦にする機械であり、締固めを重視する現場には適しません。下層まで締固めが必要な場合は、ランマー、バイブロコンパクター、振動ローラー等締固め効果が大きい作業機を使用してください。土砂・土・砂・砂利及びアスファルトの転圧に使用し、それ以外の作業に使用してはいけません。

構 造

本機は、リチウムイオンバッテリー (DC51V) を電源とし、三相誘導モーターを動力とする。

本機上部は、エンジンベース上に取付けられたバッテリーとコンバーター、ガードフック、移動車付ハンドル、散水タンクから構成される。


本機下部は、転圧盤とモーター内部に振子軸を持つ自振モーターで構成される。





本機上部と下部は、防振ゴムで固定される。

動力伝達

本機は、動力としてモーター内部に振子軸を持つ自振モーターを搭載する。モーターを始動するとモーター内部の振子軸の回転により振動が発生し転圧盤に伝達されます。本機は、転圧盤の振動で前進し、振動と自重により、地面の転圧・均し作業を行います。

3. 警告サイン

本取扱説明書および機械に貼付けてあるラベルの  マークは警告サインです。安全上、必ず厳守してください。

	人体に対する危険がある場合
 危険	指示を守らないと、死亡または重大な傷害事故が生じる危険が極めて高い場合
 警告	指示を守らないと、死亡または重大な傷害事故が生じる危険があり得る場合
 注意	指示を守らないと、怪我や傷害事故が生じる可能性がある場合
注意	指示を守らないと、物的な損害が発生する可能性がある場合

4. 安全のための注意事項

4.1 一般的な注意事項

危険

- 雨中や本機が水に濡れた状態で使用しないでください。
- 火気の近くでは使用しないでください。
- 濡れた手で機械に触れないでください。感電や漏電の恐れがあります。

注意

- こんな時は作業をしない。
 - 過労や病気などで体調が悪いとき。
 - 医薬品や薬物を服用したとき。
 - 飲酒をしたとき。

警告

- 取扱説明書を良くお読み頂き、正しい取扱いで安全に作業を行ってください。
- バッテリー、充電器の取扱いは個々の取扱説明書を参照してください。
- 機械の構造を充分理解してください。
- 作業を安全に行うために、防護具(ヘルメット、ゴーグル、安全靴、耳栓等)を着用し、適切な作業服で作業してください。
- 常に機械を点検し、正常であることを確認してから運転してください。
機体の貼付銘板(操作方法・警告銘板等)は安全を守るために非常に重要です。機体を清掃し、常に読みやすい状態を保ってください。読み取りにくくなった場合は、新しい銘板に交換してください。
- 幼児等が触れると大変危険です。保管方法、保管場所には充分注意してください。特にバッテリーは作業を終える度に取り外し、指定の場所に保管してください。
- 整備する場合は必ずモーターを停止させてから行ってください。
- 三笠純正部品を使用しない場合や、改造及び修正を加える事で発生した如何なる事故・故障に関して、当社は一切責任を負いません。



4.2 バッテリーの注意事項

必ず付属の BATTERY ONE (バッテリーワン) の取扱説明書をお読みください。

危険

- バッテリーに火気を絶対に近づけないでください。また、加熱したり高温状態で放置しないでください。発熱、発火、破裂して、有害物質が出る恐れがあります。
- バッテリーを分解・改造・修理をしないでください。
- バッテリーは専用の充電器で充電してください。それ以外の方法で充電しないでください。

- バッテリーに強い圧力や衝撃を与えないでください。また、外観に変形を確認した場合、使用しないでください。
- バッテリーから漏液、異臭が確認された場合、ただちに火気を遠ざけてください。引火し、発火、破損をする恐れがあります。

警告

- 弊社指定のバッテリーをご使用ください。弊社指定のバッテリー以外の使用や分解、改造したもの（バッテリーを分解してセルなどの内蔵部品を交換したものを含む）は、安全性や製品に関する保証はできません。
- バッテリーを水などの液体で濡らさないでください。感電やショートによる火災の恐れがあります。
- バッテリーに切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
- バッテリーの端子部にピンや針金などの金属物をさし込まないでください。感電やショートの原因になります。
- バッテリーを電子レンジや高压容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。万が一バッテリーから漏れた液が目に入った場合、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い医師に相談してください。また、皮膚や衣服については、直ちに水で洗い流してくださいやけどや衣服の損傷の原因になります。
- 乳幼児の手の届く場所に保管しないでください。また、使用させないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、バッテリーは本体にさし込むか、バッテリー輸送ボックスに入れて保管してください。

注意

- バッテリーの充電温度（0～45℃）、使用温度（-10～50℃）、保管温度（-20℃～50℃）に注意してください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

バッテリーはリサイクルへ

バッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。バッテリーや製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。



4.3 充電器の注意事項

必ず付属の BATTERY ONE（バッテリーワン）の取扱説明書をお読みください。

危険

- 可燃性ガスが存在する環境の中で充電しないでください。爆発・火災の恐れがあります。
- 充電器を分解・改造・修理をしないでください。
- 充電器を専用バッテリーの充電以外に使用しないでください。
- 充電器に強い圧力や衝撃を与えないでください。また、外観に変形を確認した場合、使用しないでください。
- 煙や焦げる臭いなどが確認された場合、ただちに電源コードを抜いてください。
- 充電器や電源プラグ・コネクタを水などの液体で濡らさないでください。また、ほこりなどは定期的に除去してください。感電やショートによる火災の恐れがあります。

警告

- この充電器は交流単相100～240V用です。交流三相200V電源や直流電源、昇圧器などのトランス類を使用しないでください。異常に発熱し火災のおそれがあります。
- 設置場所は、屋内などの雨や水のかからない所及び水溜りの無い所を選んでください。
- 充電器を使用する前に、充電器および電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、感電やショートの原因になりますので、お買い求めの販売店や貸出先等に連絡し、点検・修理を依頼してください。
- 充電器の端子部にピンや針金などの金属物をさし込まないでください。感電やショートの原因になります。
- 乳幼児の手の届く場所に保管しないでください。また、使用させないでください。



⚠ 注意

- 充電器の充電温度(0~45℃)、保管温度(-20~60℃)に注意してください。
- 充電器を氷点下で使用しないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないで下さい。
- 電源プラグは確実に根元までさし込んでください。
- 電源プラグを抜く時は、必ずプラグ本体を持ってください。
- 風窓はふさがらないでください。



4.4 作業前の注意事項

⚠ 注意

- ご使用前に次のことを確認してください。
 - 本機のスイッチが切れている(オフ)ことを確認してください。
 - 4.1一般的な注意事項(P2)を参照してください。
 - バッテリーの充電状態を点検してください。
 - バッテリーの端子接続部を点検してください。きれいで乾燥していなければなりません。
 - バッテリーの接続を確認してください。
 - スwitchの始動(オン)と停止(オフ)の機能が正常であることを点検してください。
 - インジケータの点灯を確認してください。
 - スタートレバーと安全レバーがスムーズに作動するか点検してください。
- 作業前点検を必ず行ってください。
- 各部分の締付具合を点検してください。振動でネジが緩んでいると思わぬ大きな故障の原因となります。ネジはしっかりと締め付けてください。



4.5 作業中の注意事項

⚠ 注意

- 長時間の連続運転はしないでください。振動障害になるおそれがあります。十分な休憩を取り、間隔をあけて使用してください。
- 本機を始動したり作業するときは、周囲の人や障害物に対して安全であることを確認してください。
- 常に足場に注意し、バランスを保てる無理の無い安定した姿勢で作業してください。
- モーター本体等高温になる箇所は、運転直後等の熱い時は触れないように注意してください。
- 運転中や移動時、停止時等に本機の調子が悪くなったり、異常に気付いた場合は直ちに作業を中止してください。
- バッテリーとコンバーターを冷却するためのファンの通風口は塞がないでください。
- 本機から離れる場合は、必ずモーターを停止させてください。また本機を移動する場合もモーターを停止させてください。
- 低温時はバッテリーの出力特性が弱くなるため始動できない場合があります。



4.6 積み下ろし作業に関する注意事項

クレーンによる積み下ろし作業は資格が必要です。クレーンの運転・玉掛け作業の資格がある人が行ってください。

⚠ 危険

- 吊り上げ作業に対し、本機部品(特にフック・防振ゴム)の損傷やネジの緩み・脱落が無く安全である事を確認してください。
- 吊り上げ時はモーターを停止させバッテリーを外してください。
- 強度の十分なワイヤーロープ等を使用してください。



- 安全の為、必要以上の高さには吊り上げないでください。
- ワイヤロープに損傷がある時は使用しないでください。
- 吊り上げ作業は一点吊りフックのみ使用し、その他の場所(ハンドル等)での吊り上げ作業はしないでください。
- 油圧ショベルのクレーン仕様で作業を行う場合、急激な吊り上げ・吊り下げは絶対に行わないでください。
- 本機を吊り上げた際、下には絶対に人や動物を入れないでください。
- 吊り上げ機械操作時に事故の無いよう充分注意して下さい。また、吊り上げ機械に故障が無いか確認してください。
- ハンドルを持って本体を持ち上げる場合は、ハンドルと本機の間指や手を挟まないように注意してください。



4.7 運搬に関する注意事項

⚠ 危険

- 運搬時はモーターを停止させ、バッテリーを外してください。
- モーター及び本機がよく冷えてから運搬してください。
- 本機が動いたり倒れたりしないようしっかりと固定してください。
- モーターやバッテリーが濡れないようにしてください。
- 本機は重量物である為、移動の際は専用の移動車(MC-1B)をご使用ください。



4.8 保管に関する注意事項

⚠ 警告

- 本機は水平な場所に置いた姿勢で、モーターや本機がよく冷えてから格納してください。このとき、本機が倒れないよう必要に応じて本機を固定してください。他の危険物質とともに保管すると、危険な相互作用により火災や爆発が発生する可能性があります。
 - 他の危険物質と分離して保管してください。
 - 他の可燃物と分離して保管してください。
 - 最低でも2.5mの間隔を維持してください。



⚠ 注意

バッテリーの自己放電は1か月あたり約3%です。深放電はセルの損傷や容量損失を引き起こすおそれがあります。

- 充電状態を半年に一度点検してください。

ほこりのない乾燥した環境で保管してください。

屋外に保管しないでください。

直射日光を避けてください。

保管温度に注意してください。(5.仕様を参照してください。)

幼児等が触れると危険です。保管方法、保管場所には十分注意してください。

製品を1か月以上使用されない場合は、次の措置を取ってください。

- 丁寧に清掃してください。
- 必要に応じて点検し、不具合がある場合は、お買い求めの販売店にご相談してください。



4.9 整備上の注意事項

警告

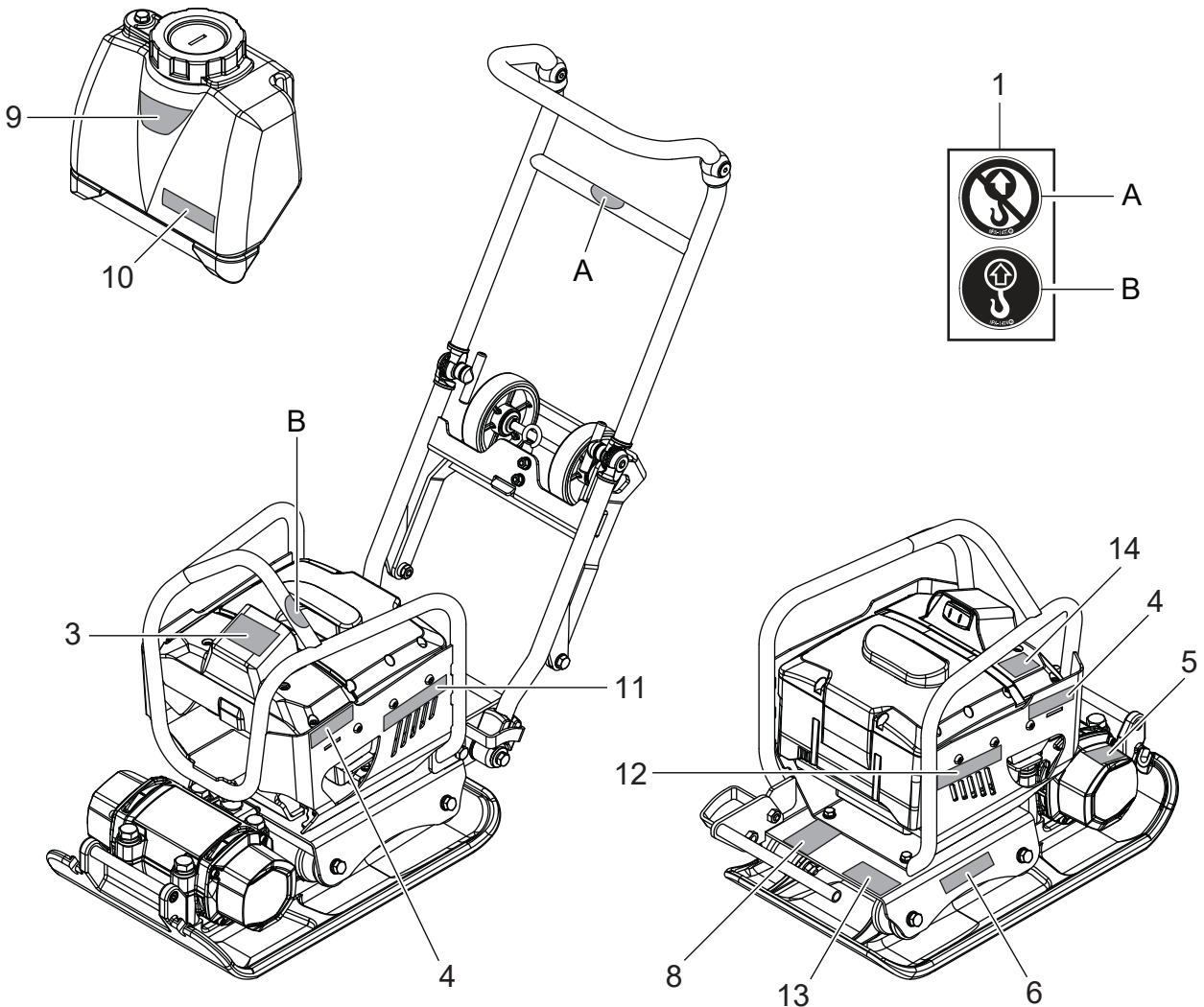
- 安全を確保し、本機の性能を維持する為に、適切な整備が必要です。本機の状態を充分留意し、良好な状態を維持してください。

注意

- 点検、手入れの際は、必ずスイッチを切り(オフ)、バッテリーを本体から取外してください。
- 清掃の際は、高圧洗浄機を使用しないでください。水を湿らせたきれいな布で拭き掃除をしてください。
- バッテリーは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店にご相談してください。
- 分解を伴う整備を行う場合は、必ず整備基準書を参照し、安全に作業を行ってください。
- 修理の知識や技術のない方が修理をしますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故や怪我の原因となります。
- 高温になる箇所は、熱い時に触れないでください。
- 本体潤滑油は、火傷の恐れがありますので、高温時に整備は行わないでください。
- 整備終了後、保安部品の取付及び安全性の確認を行ってください。特に、ボルト・ナットの点検は充分行ってください。



4.10 ラベル取付位置



4.11 ラベルリスト

No.	部品番号	部品名称	数量	ラベル No.
1	9209-00180	集合銘板／2種組／吊上. 2種／	1	
3	9202-26050	銘板, SMART-i ロゴ 66×36	1	
4	9202-25720	銘板, MIKASA (125) / 白	4	
5	9202-17060	銘板 / 注意 / 火傷 / 絵文字	1	
6	9201-14590	銘板 / 雨天・高圧洗浄使用厳禁 / 和文 /	1	NP-1459
8	9202-24340	銘板 / 取扱注意 / 絵文字 / e60 /	1	NPA-2434
9	9202-10960	銘板 / 三笠マーク / 白-40x80 /	1	
10	9202-25720	銘板, MIKASA (125) / 白	1	
11	9202-25790	銘板, MVC-i 60 (右) / 緑	1	
12	9202-25800	銘板, MVC-i 60 (左) / 緑	1	
13	9201-15000	銘板, 製番 / MVC i 60 / 国内 / CE 無	1	

4.12 警告ラベルの説明



指定吊り上げ箇所

本機を吊り上げる時は、必ず一点吊りフックを使用してください。



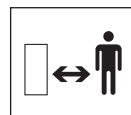
吊り上げ禁止

一点吊りフック以外で吊り上げしないでください。



高温部火傷注意

火傷の恐れあり。点検・修理は冷めてから行ってください。



安全距離確保

運転中は危険源に近づかないよう注意してください。



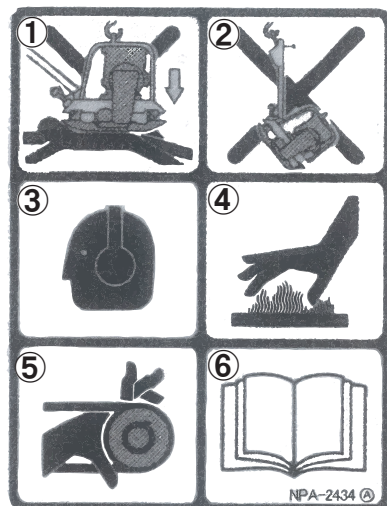
高圧洗浄使用禁止

高圧洗浄機は使用しないでください。



水濡れ防止

雨の中で使用しないでください。



① 吊り荷の下は立入禁止

吊り上げた機械の下へは絶対に人や動物等を入れないでください。

② ハンドルでの吊り上げ禁止

落下の危険性があるので、ハンドルで吊り上げはしないでください。

③ 運転中は、防音用保護具を着用してください。

④ 高温部火傷注意

火傷の恐れあり。点検・修理は冷めてから行ってください。

⑤ 回転部巻き込まれ注意

負傷の恐れあり。回転部に手や物を近づけないでください。

⑥ 取扱説明書熟読

本機を操作する前に取扱説明書を読み、十分に理解してください。

5. 仕様

5.1 本体

型式	MVC-i60		
機体質量 (※1)	水タンク無	kg	76
	水タンク有		87
機体寸法	全長	mm	1055
	全幅		350
	全高		1010
転圧盤寸法	全長	mm	585
	全幅		350
振動数	Hz (v. p. m)		98 (5880)
遠心力	kN (kgf)		11 (1122)
最大速度	m/min		25
最大作業勾配	% (度)		35 (20)
水タンク容量	リットル		8.5
ハンドル	防振中折れハンドル		
移動車	回動式移動車		
運転時間	分	80 (BOB10) / 110 (BOB14)	
充電時間 (充電器 : B0C13)	分	95 (BOB10) / 140 (BOB14)	

※1 バッテリー(BOB14)搭載時の重量です。水タンク有の重量は水タンクを満タンにした運転質量です。

5.2 モーター(自振モーター)

型式	三相誘導モーター	
定格出力	kW (PS)	1.2 (1.6)
定格電流	A	21.5
定格電圧	V	51

5.3 リチウムイオンバッテリー

型式	BOB5	BOB10	BOB14 (※4)
質量 (kg)	6.45	9.7	9.96
全長 (mm)	220		
全幅 (mm)	290		
全高 (mm)	196.5		
電圧	DC51V		
電圧容量	504Wh	1008Wh	1425Wh
定格容量	10Ah	20Ah	28Ah
IPコード	IP2X		
充電温度範囲	0~45°C		
使用温度範囲	-10~50°C		
保管温度範囲	-20~50°C		

※4 標準装備のバッテリーです。

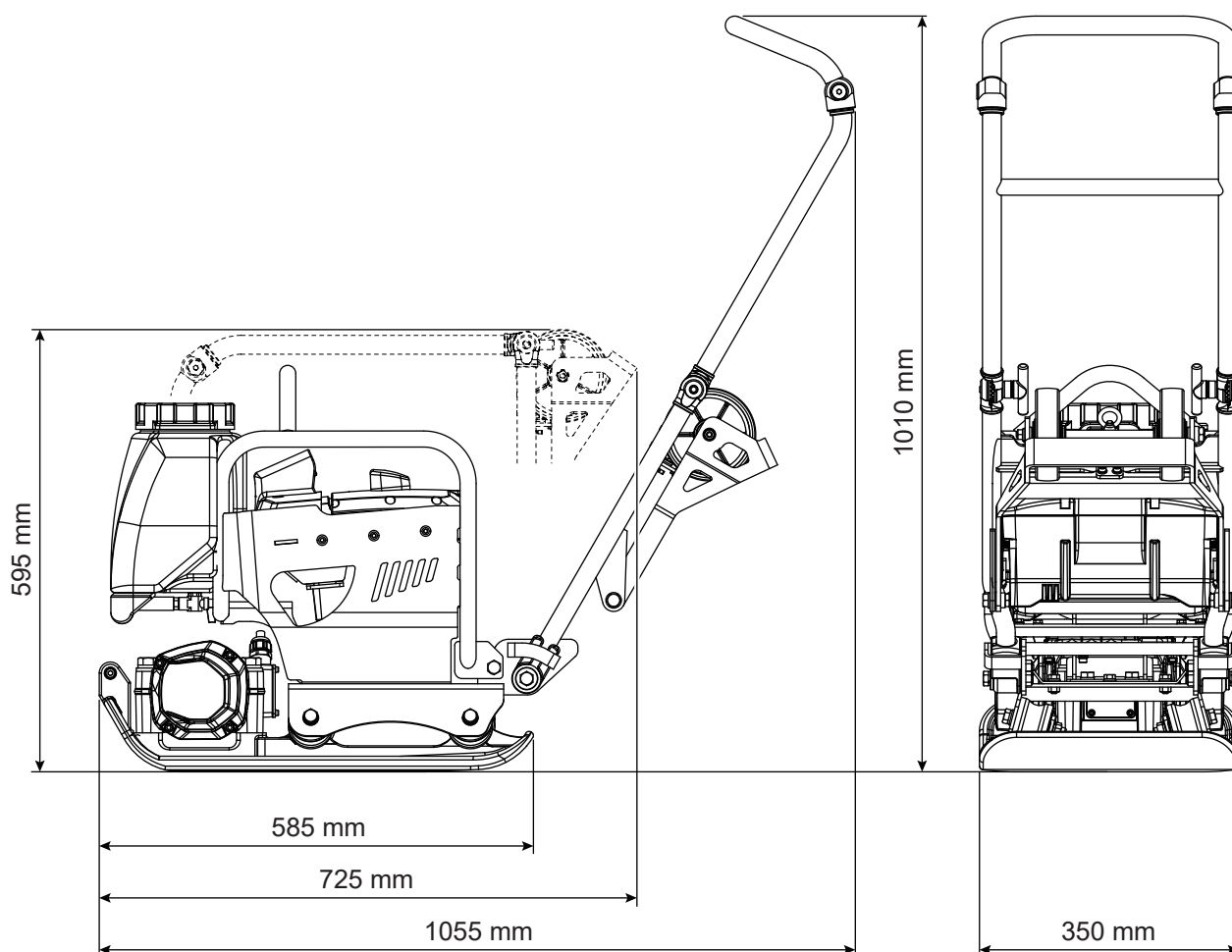
※ 本仕様は予告無く変更することがあります。

5.4 充電器

型式	BOC13
質量 (kg)	5.3
全 長 (mm)	296
全 幅 (mm)	396
全 高 (mm)	217
入力電圧	AC 100V~240V
入力周波数	50/60Hz
出力電圧	DC 2.7V~60V
出力電流	13.5A
接続ケーブル	2000mm
IPコード	IP65 (コネクタプラグ : IP20)
充電可バッテリー	BOB5, BOB10, BOB14
充電温度範囲	0~45℃
保管温度範囲	-20~60℃

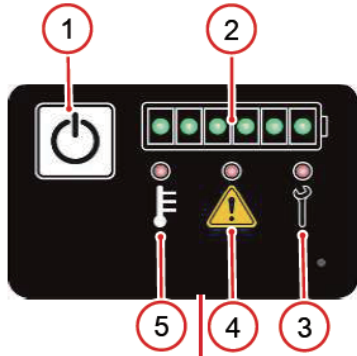
6. 外観図

6.1 外観寸法図

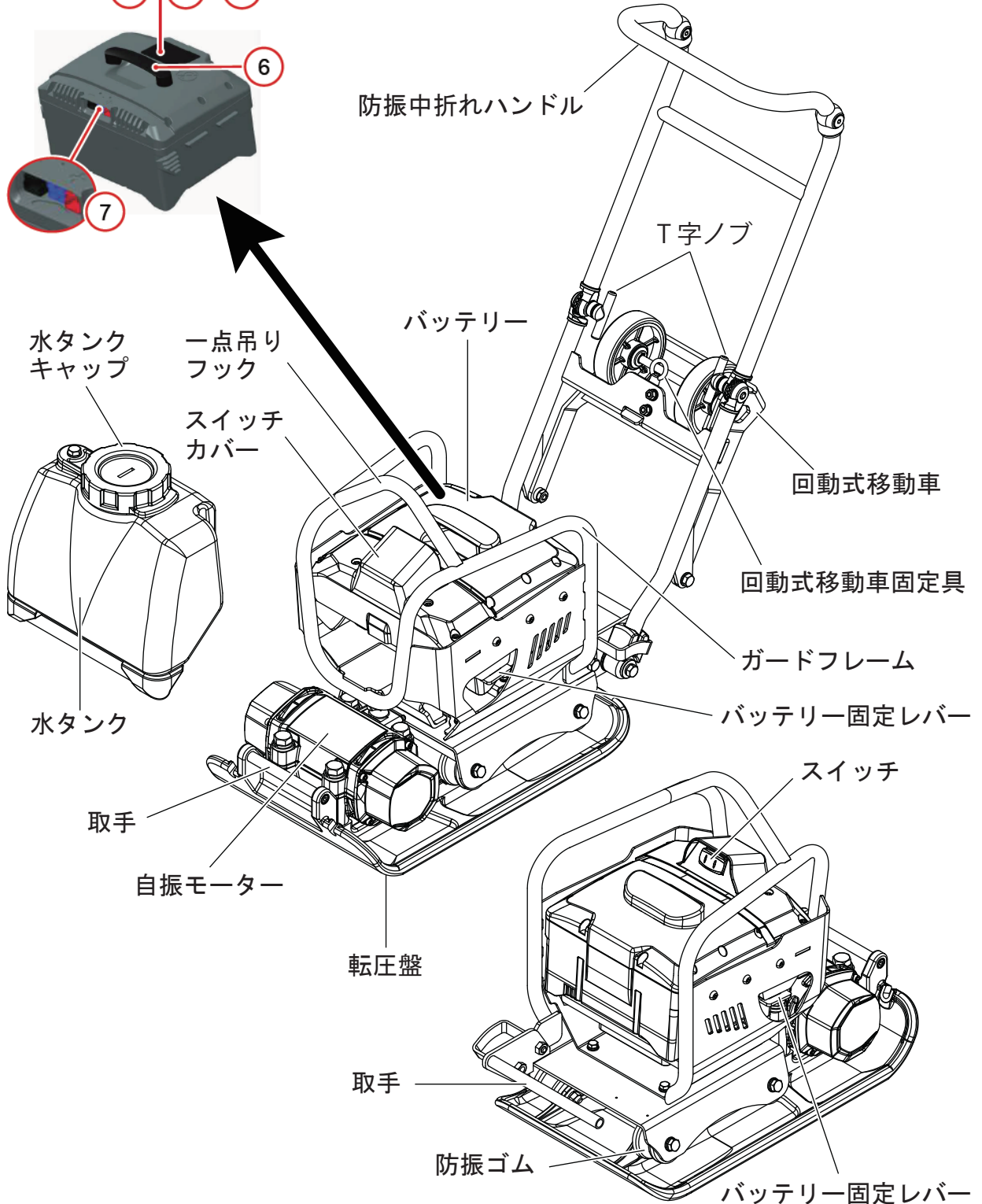
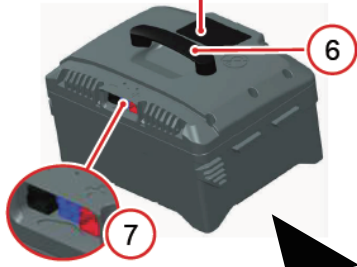


※ 本仕様は予告無く変更することがあります。

6.2 各部の名称



- ① スタートボタン
- ② 充電レベルの表示灯
- ③ 診断の表示灯
- ④ バッテリーエラーの表示灯
- ⑤ 過熱／低温の表示灯
- ⑥ バッテリーハンドル
- ⑦ 接続部（接触ストリップ）



7. 運転前の点検

⚠ 危険

- 本取扱説明書に記載されているすべての安全のための注意事項を読み、その指示に従ってください。
- バッテリーと充電器の取扱いは、個々の取扱説明書を読み、その指示に従ってください。

⚠ 警告

- モーターを停止させ、バッテリーを取出した状態で点検を行ってください。感電や回転部に巻き込まれますと、重大な傷害を負う危険性があります。
- 本機を水平にし、機体が動かない事を確認してから点検してください。
- 本機の温度が下がってから点検作業を行ってください。

作業前各部点検表

点検箇所	点検項目	点検箇所	点検項目
外観	傷、ゆがみ、汚れ	ハンドル部	傷、変形、亀裂、破損、作動
転圧盤	摩耗、変形、破損	回動式移動車	傷、変形、亀裂、破損、作動
ボルト、ナット類	ゆるみ、脱落	防振ゴム	傷、変形、亀裂、破損

7.1 点検

1. 各部を綺麗に掃除し、泥・埃の無いように手入れをしてください。
特に転圧盤に付着した泥は綺麗にしてください。
2. 各部のボルトやネジ、ナットなどが緩んでいないか確認してください。ボルト類が緩んでいると事故や故障の原因となります。ボルト類をしっかりと締め付けてください。
3. 本機に損傷がないか確認してください。損傷している場合は、修理してください。
4. バッテリー固定レバーが正しく作動するか確認してください。
5. スイッチが正しく作動するか確認してください。
6. 警告ラベルがはがれていたり、汚れている場合は、新しい警告ラベルに貼り換えてください。

7.2 バッテリーと充電器

- 以下の内容の操作を行う時は、バッテリーと充電器の取扱説明書の指示に従ってください。
 - 充電と充電レベル
 - 清掃
 - 保管
 - 輸送
 - 廃棄

⚠ 注意

- リチウムイオンバッテリーを廃棄・交換する場合、回収および再資源化が義務付けられています。個人での廃棄処理は絶対に行わないでください。
- 廃棄・交換を必要とする場合は、バッテリーの取扱説明書をご参照ください。

7.3 バッテリーの取付けと取外し

⚠ 注意

- 純正バッテリーを使用してください。
- バッテリーの取付部と接続部は、きれいで乾燥していなければなりません。
- バッテリーの接続部がスイッチカバーの方向に向いていること確認してください。

- バッテリーの取付け(図1)

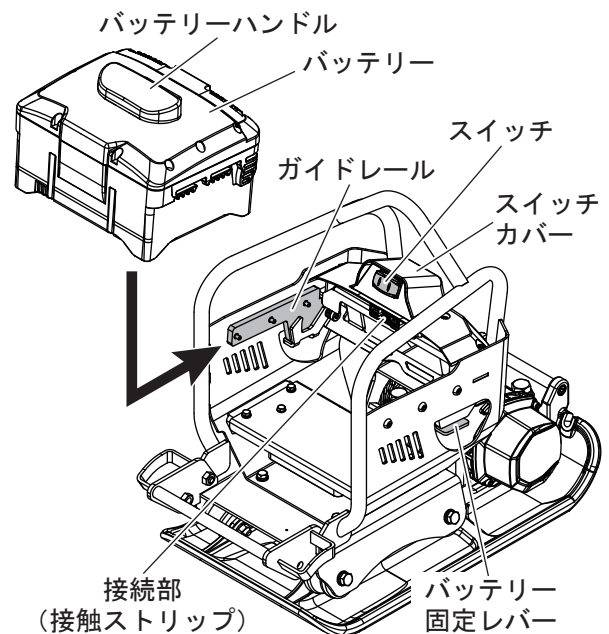


図1

1. スイッチをOFF(オフ)にしてください。
2. バッテリーハンドルを持ち、バッテリーを持ち上げてください。
3. 機体後方から、ガードフレームのガイドレールにバッテリーを慎重に挿入してください。

4. バッテリーが固定されたことを示すカチッと音がする所定の位置まで、バッテリーをスイッチカバーの方向にスライドさせます。バッテリー固定レバーが水平となり、バッテリーが確実にロックされていること確認してください。

● バッテリーの取外し(図2)

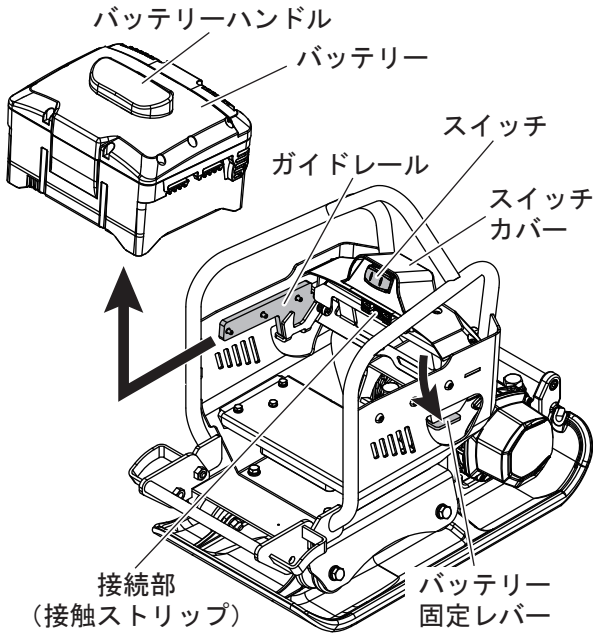


図 2

1. スイッチをOFF(オフ)にしてください。
2. バッテリー固定レバーを押し下げてください。バッテリーのロックが解除され、バッテリーが後方にずれます。
3. バッテリーが機体後方に止まるまで、バッテリーハンドルを慎重に引いてください。
4. バッテリーハンドルを引き上げ、バッテリーを取り出し、安全に置いてください。

7.4 防振中折れハンドルの点検

1. 防振中折れハンドルが、収納位置から運転位置に正しく作動するか確認してください。(図3)

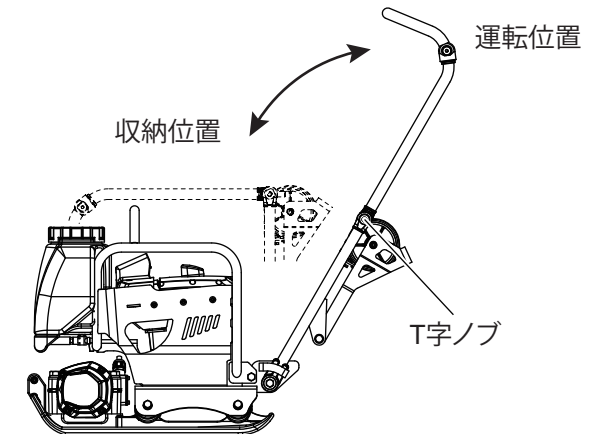


図 3

2. ハンドル位置を固定する時は、T字ノブを必ず締めてください。

7.5 回動式移動車の点検

1. 回動式移動車固定具が正しく作動するか点検してください。(図4)

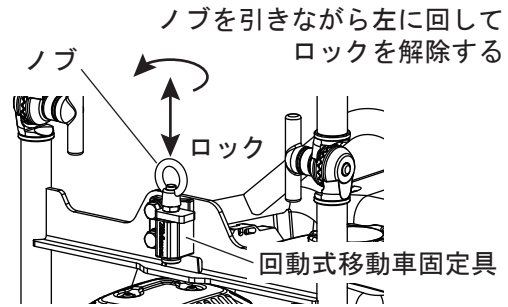


図 4

2. 回動式移動車が、収納位置から運転位置に正しく作動するか確認してください。(図5)

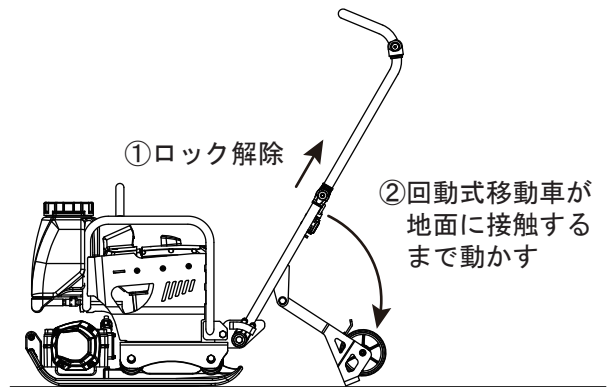


図 5

3. 本機を前後に動かした時、車輪がスムーズに回転するか確認してください。(図6)

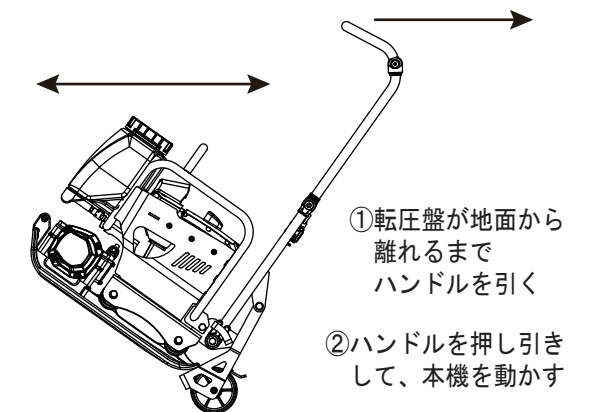
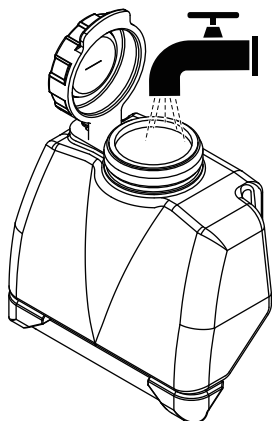


図 6

7.6 水タンクの点検

1. 水タンクに水を入れ、水漏れが無いか確認する。(図7)



注意

- 水タンクに入れる水は、必ず水道水を使用してください。水道水以外を入れるとゴミ等が混入している場合があり、水コックや散水管がつまる恐れがあります。

2. 水タンクのコックが正しく作動するか点検してください。(図8)

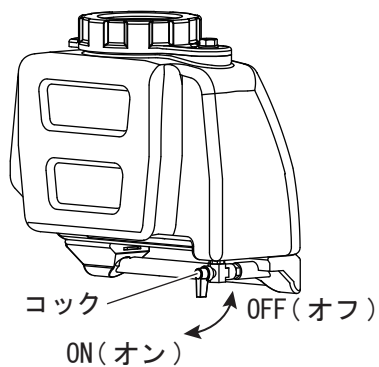


図 8

8. 運転

8.1 START(始動)

1. スタートボタンを押してオンにしてください。
2. 充電レベル表示灯でバッテリーの充電状態を確認してください。
3. 防振中折れハンドルを持ち、機体を保持してください。
4. スイッチをON(オン)“ I ”にしてください。本機は振動とともにスタートします。

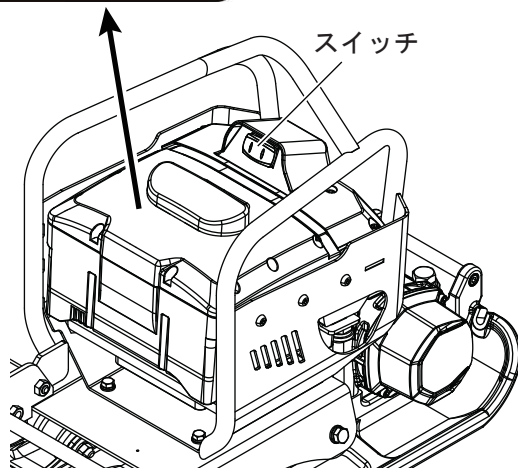
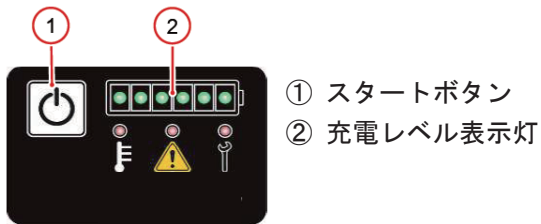


図 9

⚠ 注意

- 本機は、機体後方に立ち両手でハンドルを持って運転してください。
- 本機は、土砂、土、砂利、アスファルトの締固めに使用してください。他の用途に使用しないでください。
- 本機は、運転出来ないほど固い路盤、杭の打ち込み作業、岩盤の締固めに使用しないでください。
- 法面など傾斜のある路盤で本機を使用しないでください。機体が不安定になり、事故の原因となります。また、不均等な負荷から、機体の摩耗が早まる可能性があります。

8.2 STOP(停止)

⚠ 注意

- 高温部で火傷をする恐れあり、十分に冷えるまで触らないでください。

1. スイッチをOFF(オフ)“ O ”にしてください。
2. 本機を完全に停止させてください。

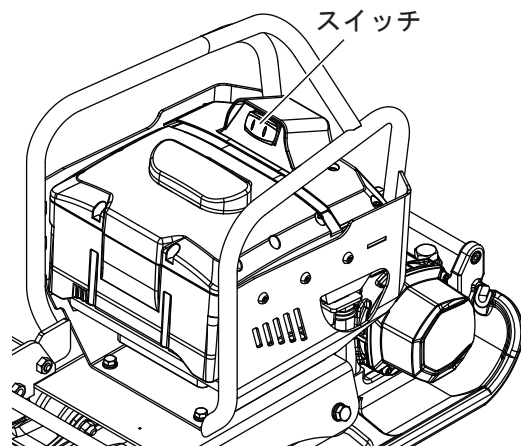


図 10

9. 運搬

- 『4.6 積み下ろし作業に関する注意事項』を参照してください。
- 『4.7 運搬に関する注意事項』を参照してください。

10. 手入れ

- 『4.9 整備に関する注意事項』を参照してください。

11. 保管

- 『4.8 保管に関する注意事項』を参照してください。

12. 定期点検

⚠ 危険

- 本取扱説明書に記載されているすべての安全のための注意事項を読み、その指示に従ってください。
- バッテリーと充電器の取扱いは、個々の取扱説明書を読み、その指示に従ってください。

⚠ 警告

- モーターを停止させ、バッテリーを外した状態で点検を行ってください。感電や回転部に巻き込まれますと、重大な傷害を負う危険性があります。
- 本機を水平にし、機体が動かない事を確認してから点検してください。
- 本機の温度が下がってから点検作業を行ってください。

12.1 各部点検スケジュール表

点検時間	点検箇所	点検項目	油脂類
毎日(作業前)	外観	傷、ゆがみ、汚れ	
	転圧盤	傷、変形、亀裂、破損、摩耗	
	ボルト、ナット類	緩み、脱落	
	ハンドル部	傷、変形、亀裂、破損、作動	
	回動式移動車部	傷、変形、亀裂、破損、作動	
	防振ゴム、その他ゴム類	傷、変形、亀裂、破損、摩耗	

⚠ 注意

- 上記の点検時間は一般的な目安です。点検時間は使用状況により異なりますのでご注意ください。
- ボルト、ナット類の緩み点検や増し締め作業は、下記の『締め付けトルク一覧表』を参照してください。

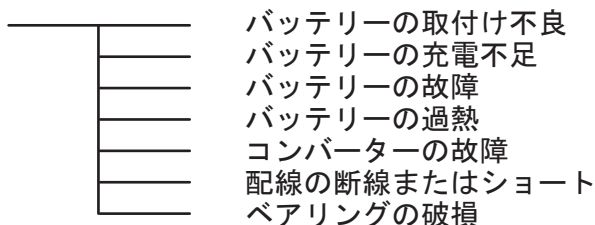
締め付けトルク一覧表 (単位: kgf・cm 1kgf・cm=9.8N・cm)

		ネジ径							
		6mm	8mm	10mm	12mm	14mm	16mm	18mm	20mm
材 質	4T (SS400)	70	150	300	500	750	1,100	1,400	2,000
	6-8T (S45C)	100	250	500	800	1,300	2,000	2,700	3,800
	11T (SCM435)	150	400	800	1,200	2,000	2,900	4,200	5,600
	相手材質がアルミニウムの場合	100	300~350	650~700	(本機に使用しているネジは全て右ネジです。)				

13. トラブルシューティング

13.1 本 体

- モーターを起動できない



13.2 バッテリーと充電器

- バッテリーと充電器のトラブルシューティングは、個々の取扱説明書を参照してください。

Mikasa

MIKASA SANGYO CO., LTD.

1-4-3, Kanda-Sarugakucho, Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0064, Japan

三笠産業株式会社

〒101-0064 東京都千代田区神田猿楽町1-4-3

修理に関するお問合せ

TEL 048-734-2402 FAX 048-734-7678

部品に関するお問合せ

TEL 048-734-2401 FAX 048-736-6787

その他のお問合せ

info@mikasas.com

Web パーツリスト

<https://www.mikasas.info/MIKASA/JA/>

